

大崎上島町教育大綱

(令和 7 年度～令和 11 年度)

目 標

ふるさとを愛し 大崎上島の未来を担う 人材の育つまち

【1】生涯学習

■基本方針

生涯学習の目的を、生活文化の振興・社会福祉の増進に寄与することと捉え、生涯にわたる自己啓発と社会参加を推進することにより、いきいきした暮らしの実現を図ります。町民の自主的な学習活動を支援し、それらの活動をつなぐことによって、「学びあい、支えあう」社会づくりを推進します。

■施策の方向

(ア) 生涯学習推進体制の整備

自主活動の場として公民館などの施設の活用を推進します。また、地域の自然・歴史・文化などについて学び（「大崎上島学」）の機会を提供することにより、町への愛着やまちづくりの担い手としての意識醸成を図ります。

(イ) 学習活動活発化のための取組

学びたい人が学べる環境を整えます。町民が学習機会の情報を的確に得られるよう、情報収集・周知の仕組みを作ります。

(ウ) 子供の育成と家庭教育の推進

子供が健やかに育つ環境づくりと、地域の人々のつながりの中で多様な体験をしながら育まれるよう、関係機関・団体などと連携し育成活動を推進します。

【2】幼児・学校教育

■基本方針

「大崎上島町教育推進プラン」による教育を推進し、本町で学び、育っていく子供たちがふるさとを愛し、誇りを持って次代の担い手としてたくましく成長できるように、学校と家庭、地域が連携しながら、子供の育つ教育環境の充実を図ります。

■施策の方向

(ア) 就学前教育の充実

幼児教育の目的を、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、教育内容の充実を図るとともに、環境整備に努めていきます。また、就学前教育と小学校教育の連携を図り円滑な接続を推進します。

(イ) 豊かな心の育成

「大崎上島町人権教育推進プラン」に基づき、自己肯定感を高め規範意識の醸成を図り、自他を大切にすることを育む教育を推進します。子供たちの人間力を育成するため、大崎上島の自然・歴史・文化を探究する「大崎上島学」を基軸に、中・長期的な視点を持って特色ある教育を推進します。

(ウ) 健やかな心身の育成

子供たちが生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指し、体づくり運動の工夫と強化を図ります。また、規則正しい生活習慣の定着や心身の健康の保持を目指し、食育を学校と家庭の連携の下に推進します。体育的内容や部活動などを通して、児童・生徒に目標を持たせた意欲的な取組の実施を図ります。防犯・防災への取組としては、地域や関係機関と連携した防犯・防災教室などを通じて、危険回避能力の向上を図ります。

(エ) 確かな学力の定着・向上

一人一台端末の効果的な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。全国学力・学習状況調査など、各学力テストの結果を分析し授業改善を行い、児童生徒の基礎学力の定着・向上を図ります。特別な支援が必要な児童生徒については、状況に応じた指導ができる環境整備に努めます。

(オ) 信頼される学校づくり

校長を中心とした学校経営体制を確立し、各種研修を通して教職員の確かな授業力・指導力の向上を図り、保護者・地域から信頼される学校づくりに努めます。また、学校ホームページなどを通して積極的な情報発信を行うとともに、コミュニティ・スクールを推進し、地域と協働した学校づくりに努めます。

(カ) 教育環境の充実（ソフト・ハード両面の教育環境）

各学校間の課題の共有化と系統的な取組を推進するために、幼小中連携教育の推進を図ります。また、児童生徒の教育環境の適正化と安全・安心を確保するための学校施設の維持・修繕及び改善に努めます。さらに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制の充実を図ります。

(キ) 教職員の力が発揮できる環境の整備・働き方改革

教師が安心して本務に集中し、士気高く誇りを持って子供たちに向き合うことができるよう、学校における働き方改革の更なる推進を図ります。部活動の地域展開についても、地域の実情に応じて推進します。

(ク) 多様な人材を育てる教育の島づくり

- (1) 「プログラミング的思考」を育成するプログラミング教育を推進します。
- (2) 「大崎上島町幼小中英語教育活動推進プログラム」により発達段階に応じた発展的、系統的な外国語教育の推進を図ります。特に児童生徒のコミュニケーション能力を育成するため、外国語指導助手(ALT)及びICTを積極的に活用した取組を推進します。
- (3) 「大崎上島の子供は、大崎上島町で育てる」「地域と共に学校を創る」をスローガンに学校・家庭・地域が一体となって、双方向の教育活動を行うための社会に開かれた教育課程を実現します。

(ケ) 大崎海星高等学校・三原特別支援学校大崎分教室・広島商船高等専門学校・広島叡智学園との連携支援

各校と幼小中の学校教育や教育課題について連携した取組を進めていきます。

【３】文化活動

■基本方針

文化・芸術は、こころの豊かさを養い、日常生活の質を向上させることにも通じると考え、町民の主体的な文化・芸術活動を支援します。さらに、大崎上島文化センターを拠点として、文化・芸術への関心を高める催しを行います。また、郷土の歴史や文化を学ぶことが未来へ向けてまちづくりの糧となると認識し、歴史的資産の保存と伝承に努めるとともに、生活文化の掘り起こしに取り組めます。

さらに、文化活動に関わる人々の交流や協働を促すための支援も推進します。

■施策の方向

(ア) 文化・芸術活動の振興

文化・芸術活動においては、町民の自主的な活動を支援します。関係機関・団体と連携し、活動が活発に展開されるよう、情報提供や発表の場づくりに努めます。また、文化・芸術への関心を高める催しを行います。

(イ) 歴史的・文化的風土づくりの推進

町の文化財や地域の伝統行事・風習などの保護のため、調査・収集・研究を進めます。また、貴重な文化財など地域文化の保存と継承に努めます。誰もが郷土の歴史・文化財に親しめる環境を整えます。

【４】スポーツ・レクリエーション

■基本方針

子供から高齢者まで、安全安心で、いつでも、だれでも、どこでも気軽に運動できる環境づくりに取り組めます。このため、関係機関と連携を図りながら、活動の場の拡充、指導者の育成を図り、町民のスポーツ活動を支援します。

■施策の方向

(ア) スポーツ・レクリエーション活動の場の充実

安全管理体制を整えるとともに改修・改善などにより各学校施設及び社会体育施設の有効活用を図ります。また、夜間の施設利用ニーズの高さに応じて、夜間利用への対応も検討します。

(イ) スポーツ推進体制の充実

わいわいスポーツクラブを中心に、スポーツ推進委員会、各スポーツ少年団及び体育協会と連携して、指導者の育成と活動の活性化を図るため、講習会や研修会への参加促進と自主的なグループ・団体などの活動支援に努めます。

(ウ) 生涯スポーツの振興

子供から高齢者まで全ての町民に生涯スポーツを推進し、健康促進を図ります。また、地域を中心とした組織づくり、指導者の育成、施設の管理体制づくりを行い、町民一人ひとりがスポーツに親しむことができる環境を整えます。